

エレクトロニクスで病魔に挑戦する日本光電 －事業概要と中期経営計画－



日本光電工業株式会社
(証券コード：6849)

2018年3月17日
執行役員 経営戦略部長
瀬尾 卓史

本日の内容

- 1 会社紹介・日本光電の強み
- 2 長期ビジョンと中期経営計画
- 3 株主様への還元について

1 会社紹介・日本光電の強み

会社紹介

日本光電は 医療機器メーカーです

病棟



生体情報モニタ

救命救急室



AED 除細動器

ナースステーション



生体情報モニタ

手術室・ 集中治療室

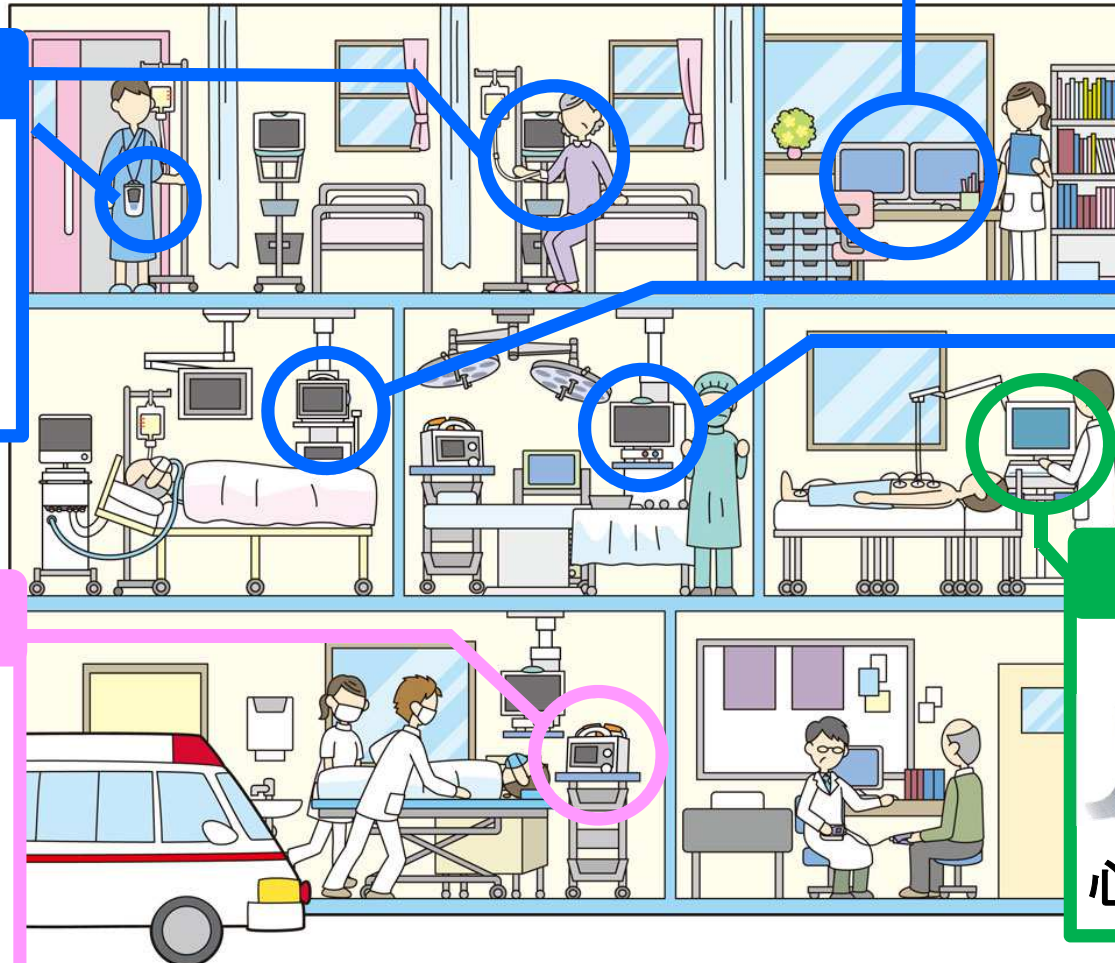


生体情報モニタ

検査室



心電計 脳波計 血球
計数器



会社概要

会社名

日本光電工業株式会社

設立

1951年8月

本社

東京都新宿区西落合1-31-4

資本金

75億4千4百万円（2017年3月31日現在）

売上高

連結1,662億円（2017年3月期）

従業員数

連結4,934名（2017年3月31日現在）

上場取引所

東証第一部 【証券コード: 6849】



グループ体制 ～開発・生産・販売拠点～

欧州

販売拠点:

ドイツ、フランス、スペイン、
イタリア、イギリス

試薬生産: イタリア

米州

(2017年12月31日現在 グループ29社)

開発: アメリカ4ヵ所

治療機器の開発・生産・販売:

アメリカ1ヵ所

販売拠点:

アメリカ、メキシコ、コロンビア、ブラジル

国内

開発: 埼玉県所沢市

生産: 群馬県富岡市

営業所: 全国123ヵ所

アジア州

開発・生産・販売: 中国

生産・販売: マレーシア、インド

販売拠点:

シンガポール、タイ、韓国、
アラブ首長国連邦

●: 開発拠点
■: 生産拠点
●: 販売拠点
●: 生産、販売
●: 開発、生産、販売

経営理念



**病魔の克服と健康増進に
先端技術で挑戦することにより
世界に貢献すると共に
社員の豊かな生活を創造する**

創業時から受け継ぐ想い



創業者
医学博士 荻野義夫

「一人の医者が救える命には限りがある。
しかし、医療機器なら、それを世界中に
広めることで限りない人々に貢献できる。」



わずか12名で発足

「『これは私達が開発したんだ』
と世界に向かって大きな声で言える
ような機器を1つでも多く。」

「本当のユーザーは医師の向こう
側にいる患者さんである。
患者さんに優しい機器を。」

主力製品①「脳波計」

世界的な脳波計メーカー

1951年

世界初



全交流
直記式
脳波装置

現 在

世界中の研修医を
受け入れる米国トップ
クラスの病院が当社の
脳波計を使用



第2位: ジョンズ・ホプキンス

※全米病院ランキング



第6位: クリーブランドクリニック

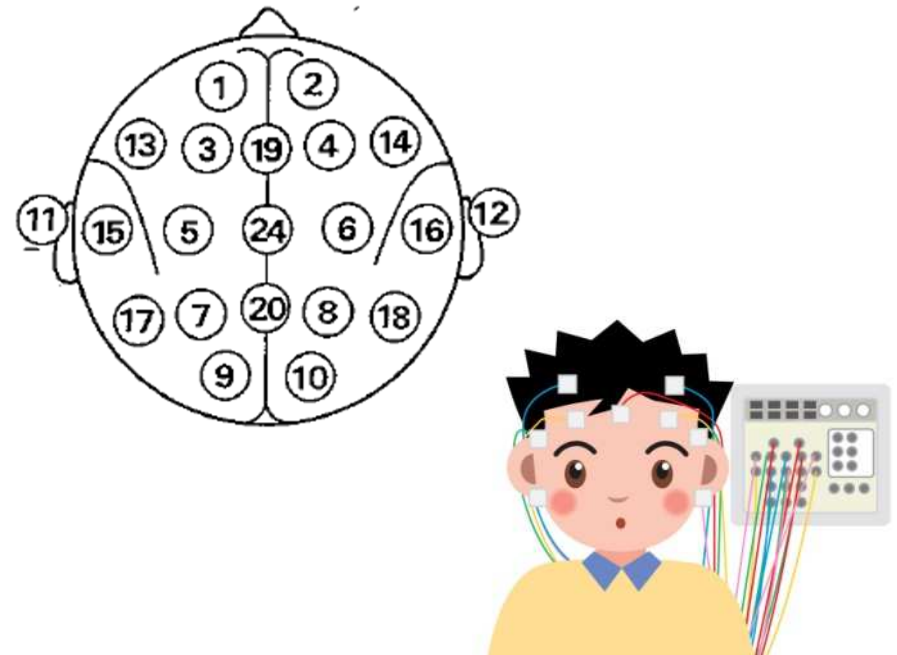
神経内科・脳神経外科部門 (2016-2017年)

主力製品①「脳波計」

脳波計とは

頭に電極を着けて、脳波を測定し、脳の活動状況を確認

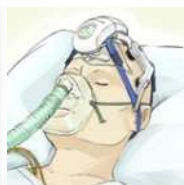
てんかん、睡眠障害、脳腫瘍、けがによる脳障害などの診断に使われる検査機器です



簡単装着・測定



EEGヘッドセット AE-120A



EEGヘッドセットによる
脳波スクリーニング



救急医療



脳波計やベッドサイド
モニタによる
脳波モニタリング

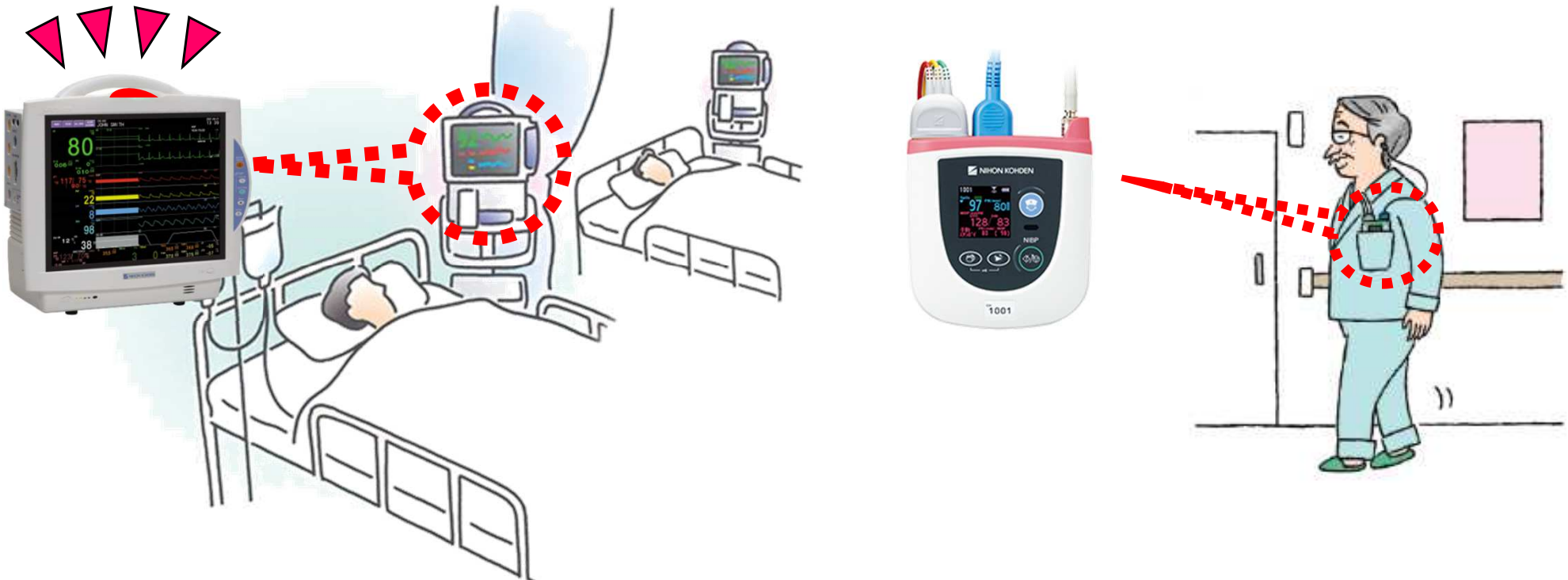


ICU

主力製品②「生体情報モニタ」

生体情報モニタの役割

患者さんの血圧、心電図、呼吸などを連続的に測定。血圧が急に下がった場合など、容態変化を**アラーム**でお知らせ



主力製品②「生体情報モニタ」

医療の安全に貢献

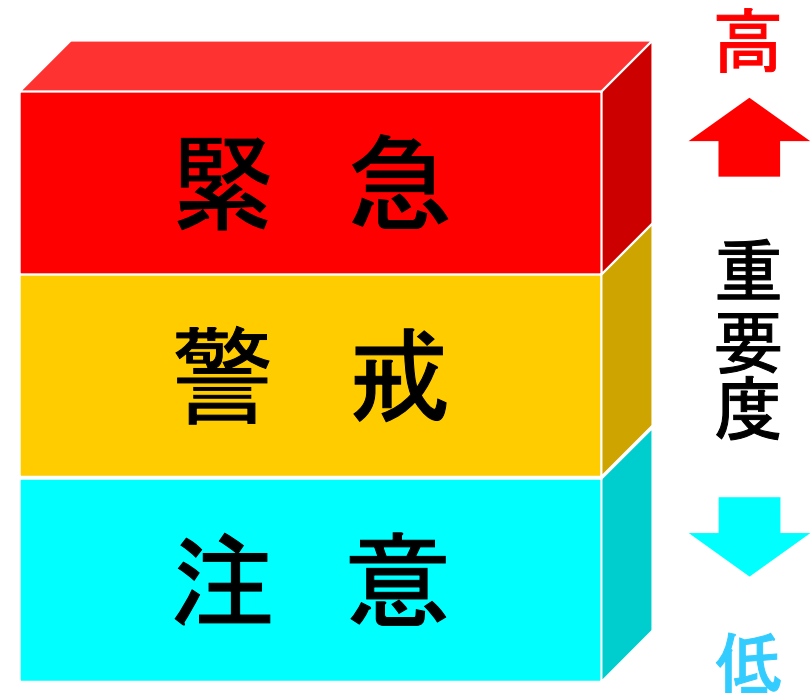


「鳴り過ぎない」アラーム

電極のズレや雑音の混入などによる誤アラームを大幅に低減

「見やすい」アラーム

緊急度に応じて色分け



主力製品③「AED（自動体外式除細動器）」

国内唯一のAEDメーカー

日本企業ならではの細やかな心配りで、AEDの普及に貢献



♥ 全国でAED講習会を実施



2004年7月から一般市民も使用できるようになり、様々な施設への導入が進んでいます。

日本光電の強み①「技術力」

**患者さんに苦痛を与えない
「センサ技術」の開発に注力**



1974年 パルスオキシメータの原理を
|| 世界で初めて開発
指先にセンサをはめるだけで
血液中の酸素飽和度(SpO_2)を測定

- ・痛みがない
- ・連続して測定



速くてやさしい血圧測定 **iNIBP**

- ・カフを加圧している間に血圧測定
- ・「痛くない」「速くわかる」



ヤワラカフ 2



デスポカフ



送信機 ZS-640P
2017年7月発売

医療現場で**世界標準**
として使用されています

日本光電の強み②「高い品質」

「世界中のお客様から日本光電の“商品”“販売・サービス”は
トップクオリティと認められる」よう、**グループ全部門の全ての活動
で品質を確保**



生体情報モニタ

11年連続

顧客満足度No.1を獲得

2006

2007

2008

2009

2010

2011

2012

2013

2014

2015

2016

2017

米国の医療機関に対して、第三者評価会社が実施した調査結果



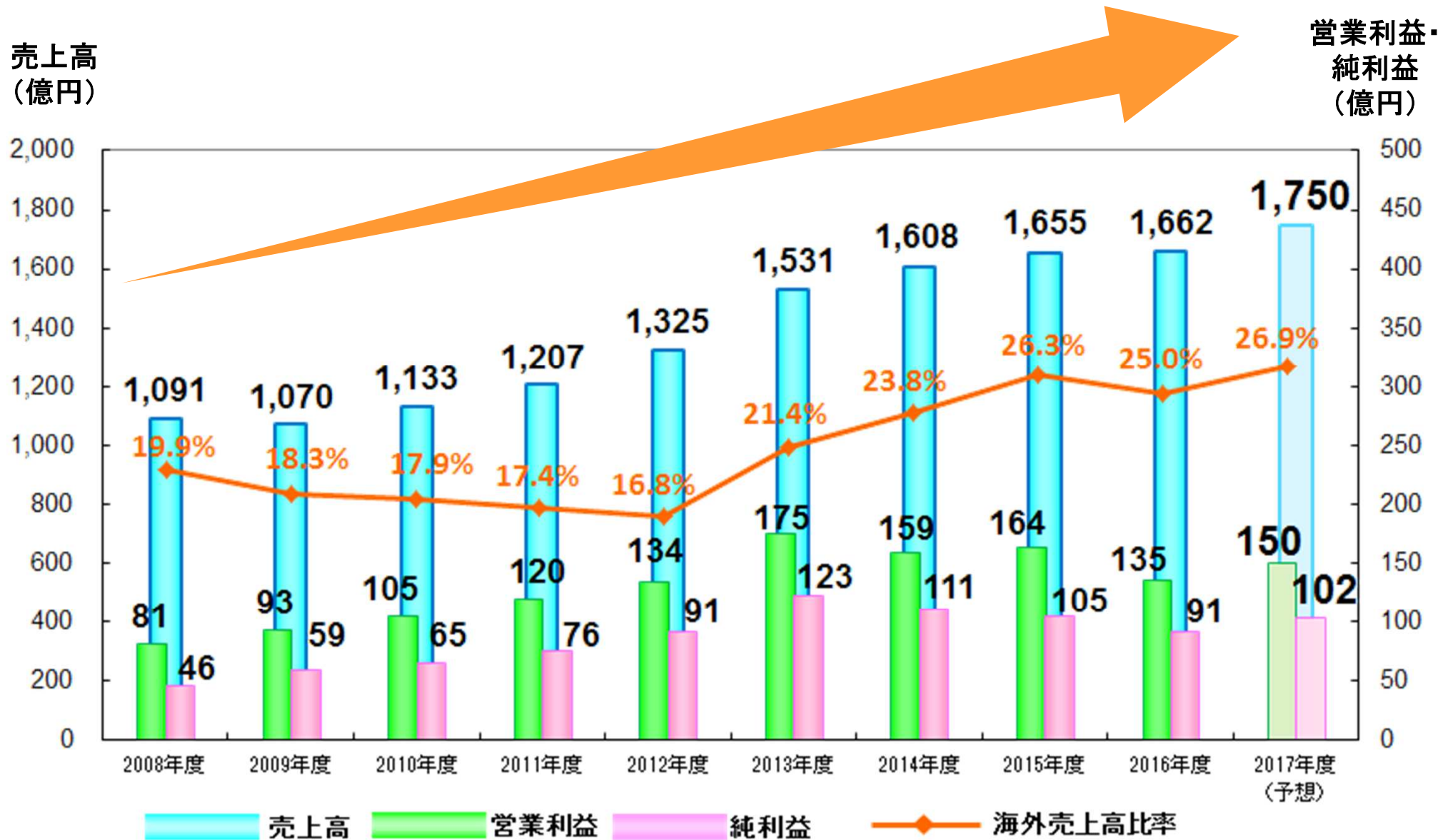
1. 日本光電 9.8

⋮

6. B社 8.8

2 長期ビジョンと中期経営計画

業績推移



長期ビジョン・中期経営計画

長期ビジョン (2010/4～2020/3)

創立60周年を機に、10年後の2020年に向けた長期ビジョンを策定

The CHANGE 2020
 –The Global Leader of Medical Solutions–

2020年の目指すべき将来像

世界初の
革新的技術の確立

世界最高品質の確立

グローバルシェア
No.1の獲得

中期経営計画

10年間で3つのステージに分け、中期経営計画を策定・遂行

2010年4月

SPEED UP Ⅲ

2013年4月

Strong Growth 2017

2017年4月

TRANSFORM 2020

中期経営計画 TRANSFORM 2020

～高収益体質への変革～

基本方針

- ① 高い顧客価値の創造 ② 組織的な生産性の向上

6つの重要課題

地域別事業
展開の強化

コア事業の
さらなる成長

新規事業の
創造

技術開発力の強化

世界トップクオリティの追求

企業体質の強化

人財育成・組織風土改革

経営目標値(2020年3月期)

	目標値
売上高	1,900億円
国内売上高	1,350億円
海外売上高	550億円
営業利益	200億円
ROE	12.0%

技術開発力
の強化

コア事業の
さらなる成長

地域別事業
展開の強化

総合技術開発センタ (埼玉県所沢市)

2016年10月
稼働開始

技術競争力の強化と開発効率向上のため、
技術開発部門を移転・集約



充実した試験環境



10m法電波暗室

電波暗室



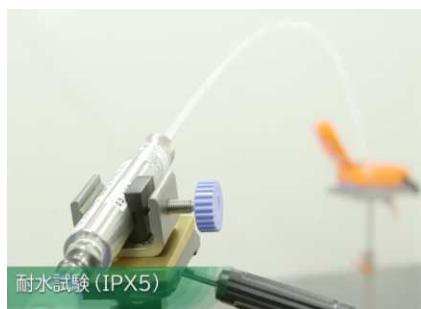
振動試験

機械試験室



電氣的ファストトランジェント/バースト試験

シールドルーム



耐水試験 (IPX5)

耐水試験室

部門を越えた交流の場



食堂



屋上庭園



技術開発力
の強化

コア事業の
さらなる成長

地域別事業
展開の強化

4つの商品群

④ その他

血球計数器や試薬、
仕入商品など

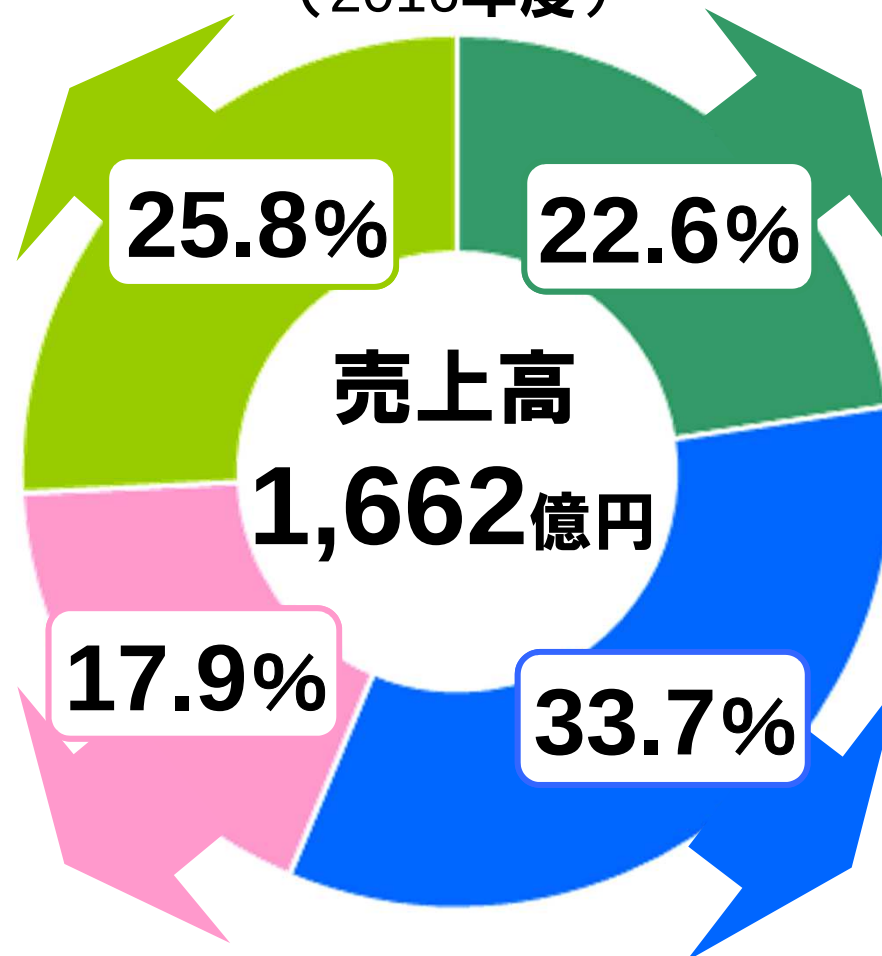


③ 治療機器

除細動器、AED、
心臓ペースメーカー、
人工呼吸器など



売上構成比 (2016年度)



① 生体計測機器

脳波計、心電計などの
検査機器



② 生体情報モニタ

生体情報モニタ、
関連の消耗品、保守
サービスなど



治療機器事業

✓ 除細動器・AED市場におけるリーダーポジションの確立

救急蘇生ケアサイクルの改善に貢献する独自技術とソリューションの開発



✓ 人工呼吸器、麻酔器事業の早期立ち上げ、グローバルな事業展開の推進

独自技術を活用した
先端的な人工呼吸器、
麻酔器の開発

		発売目標
国内向け人工呼吸器	総合技術開発センターで開発中	2018年度
新興国向け人工呼吸器	米開発拠点オレンジメッドで開発中	2019年度
麻酔器	アコマ社と共同開発中	2018年度

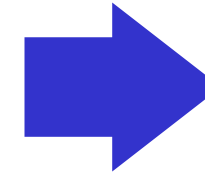
技術開発力
の強化

コア事業の
さらなる成長

地域別事業
展開の強化

世界の医療機器市場

年平均5%成長。
米国、新興国が牽引



3つの地域
に注力

日本

アメリカ

新興国

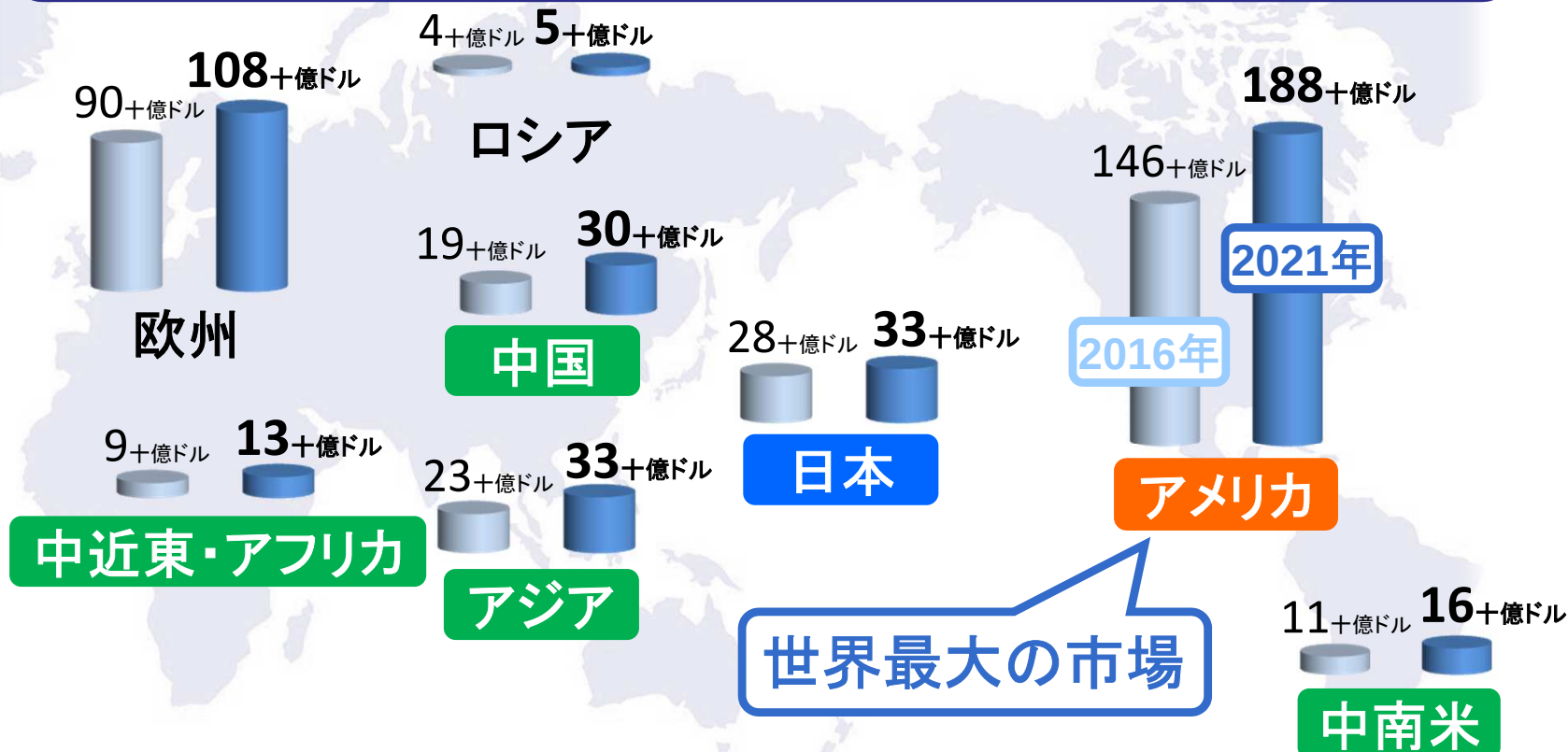
【2016年】

336十億ドル (37.0兆円)

+97十億ドル (10.6兆円)

【2021年】

433十億ドル (47.6兆円)

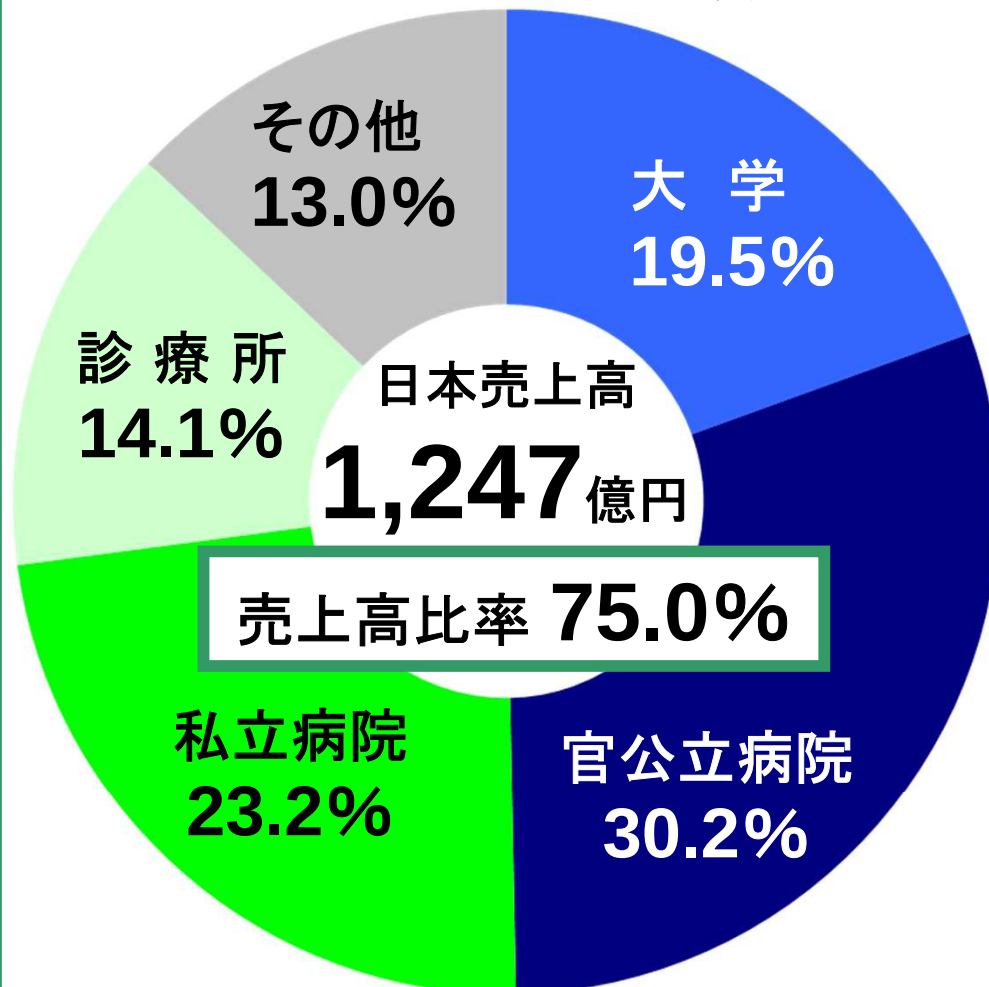


地域別売上高

日本

市場別構成比

(2016年度)

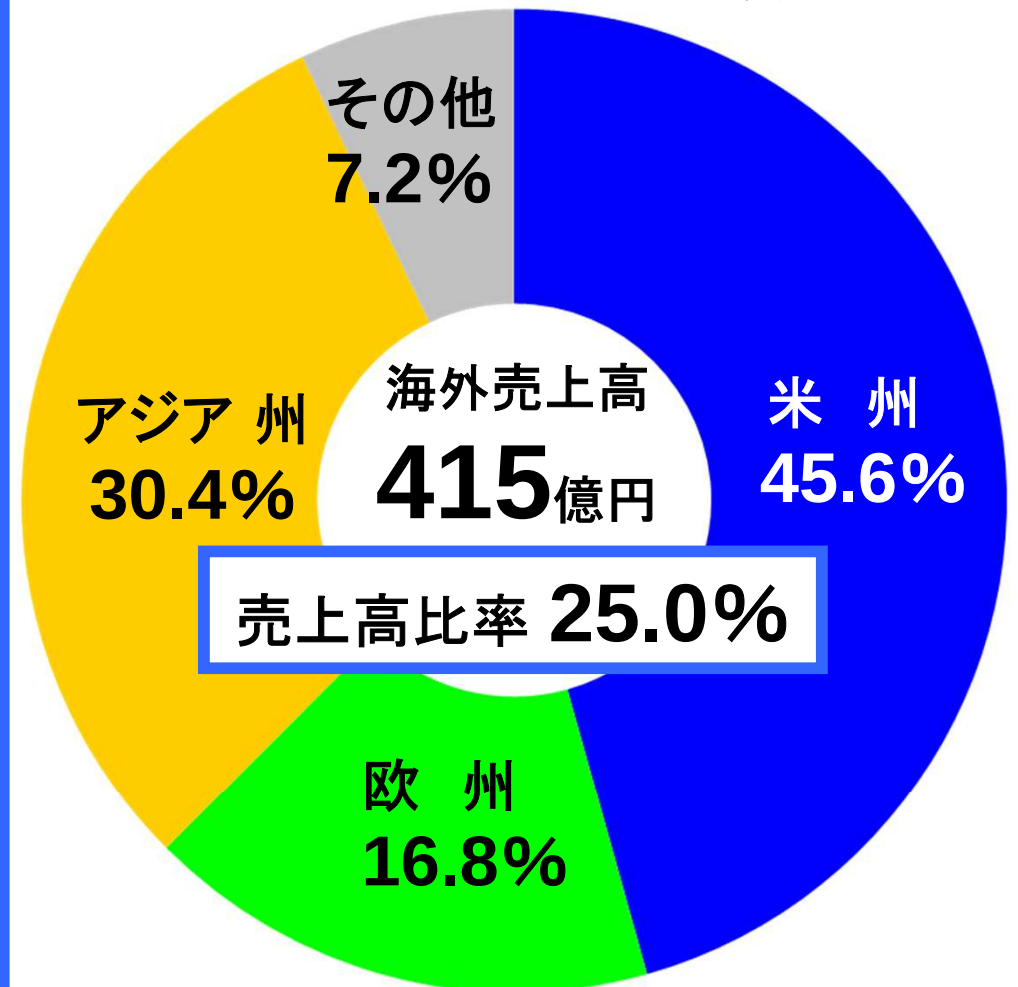


※その他には、研究所、動物病院、消防など行政機関のほか、AED納入先である学校や民間企業を含みます。

海外

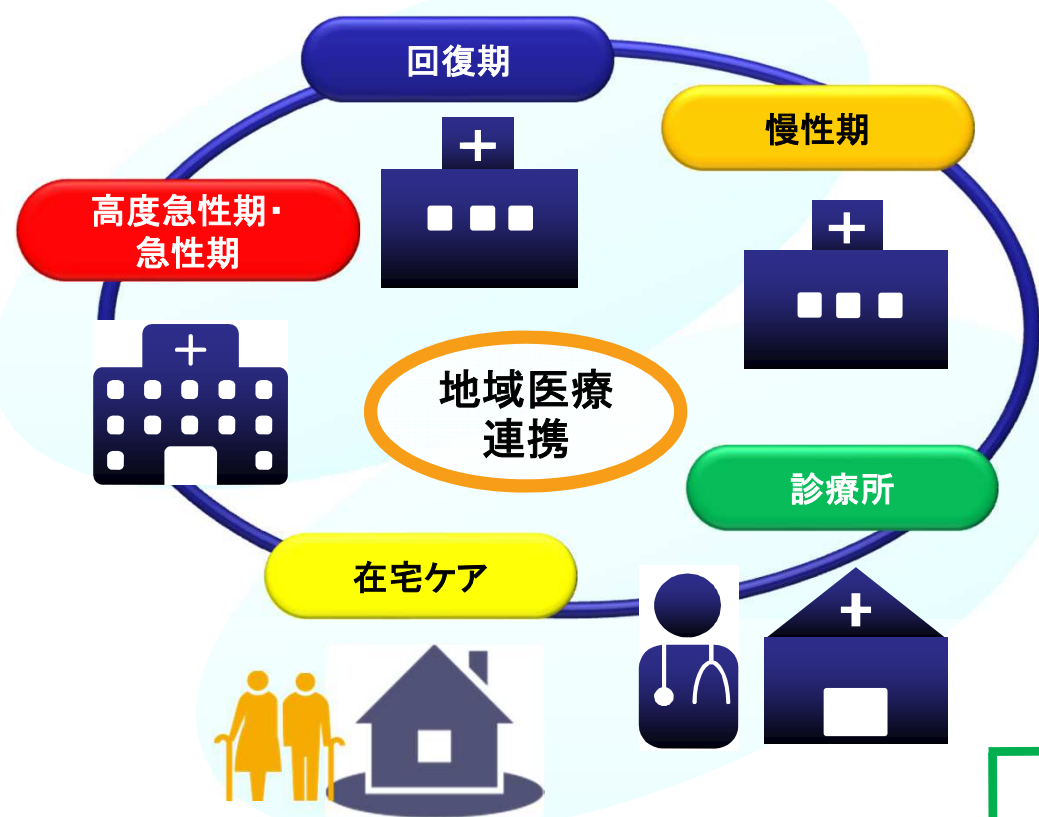
地域別構成比

(2016年度)



日本： 高齢社会の医療ニーズに応える新たな成長基盤の構築

- ✓ 病院経営の改善に貢献するソリューションの提供



- ✓ 販売・サービス体制の強化・再編

病院営業

GP※営業

※GP: General Practitioner 総合診療医

- ✓ 地域医療連携に対応した商品ポートフォリオの拡充

みまもりテレケアシステム

SUKOYAKA®



ひとり暮らし高齢者向け
健康みまもりサービス



NEW! LAVITA®

医療介護ネットワークシステム LAV-1000 (2017年8月発売)

往診時測定データ
自動転送

リアルタイムで
情報共有

血圧
体温
SpO₂
体重



LAVITAクラウド



医師

看護師

ヘルパー

世界最大・最先端のアメリカでの事業基盤の強化

- ✓ 医療の質と効率の向上に貢献するソリューションの提供

- ✓ 市場ニーズへの迅速な対応、高い顧客満足を実現とする開発・販売・サービス体制の構築



新興国市場の医療ニーズに応える戦略的事業展開

✓ 中国開発・生産体制の増強

ボリュームゾーン市場向け
製品ラインアップの拡充



日本光電コリア

日本光電
ミドルイースト

上海光電

日本光電
インド

NKSバンコク

日本光電
メキシコ

日本光電
ラテンアメリカ

日本光電
ブラジル

アフリカ

ケニア支店を
開設
(2017年12月)

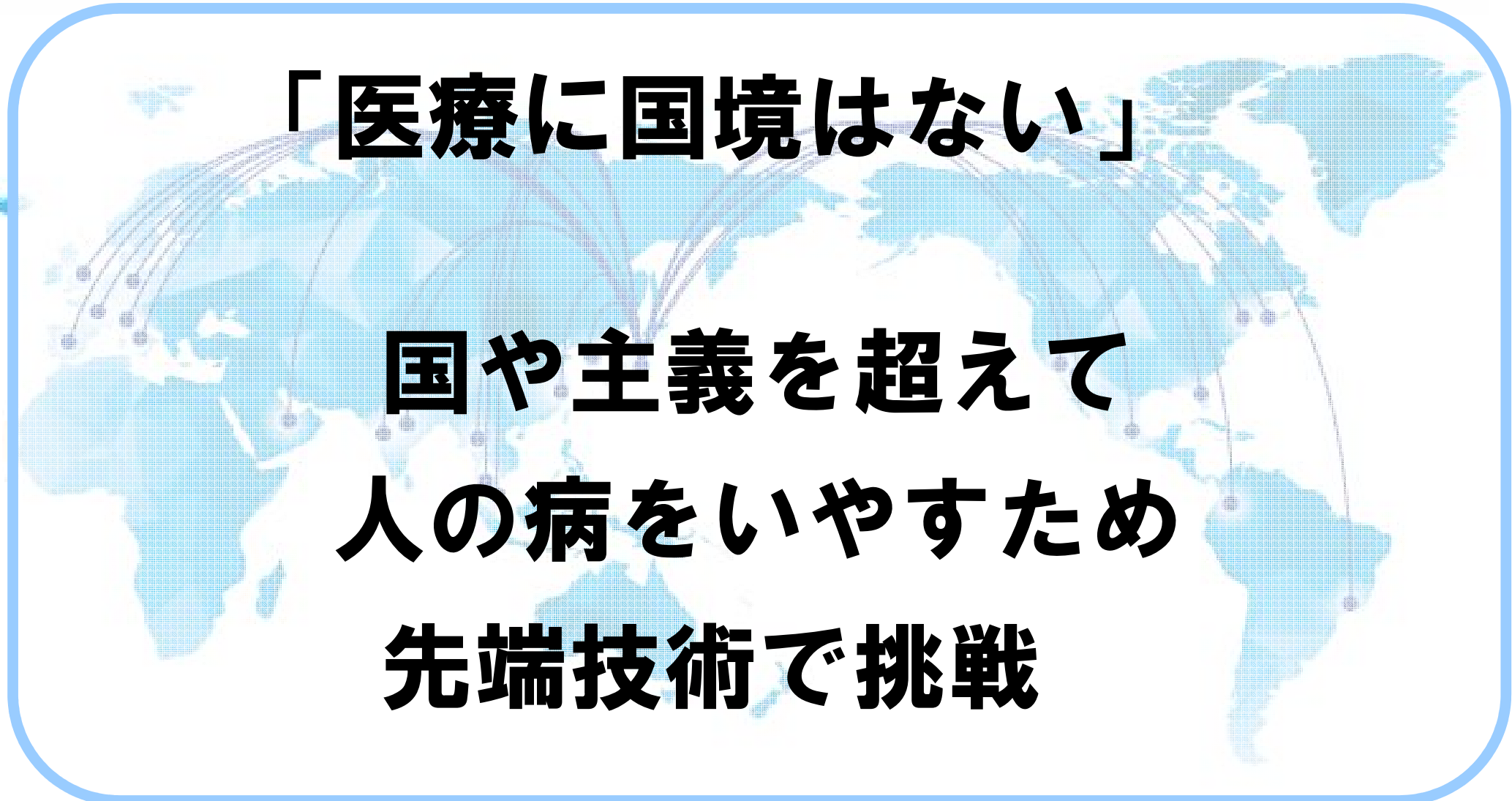
日本光電マレーシア

日本光電
シンガポール

- ・重要拠点病院への直販を強化
- ・サンパウロ大学Incor病院で
モニタ商談を受注



医療に国境はない

A light blue world map is visible in the background of the central text area. It features a grid of latitude and longitude lines. Overlaid on the map are numerous thin, curved lines in various colors (purple, blue, green) that connect different geographical locations, symbolizing global connectivity and the flow of medical information or technology across borders.

「医療に国境はない」

**国や主義を超えて
人の病をいやすため
先端技術で挑戦**

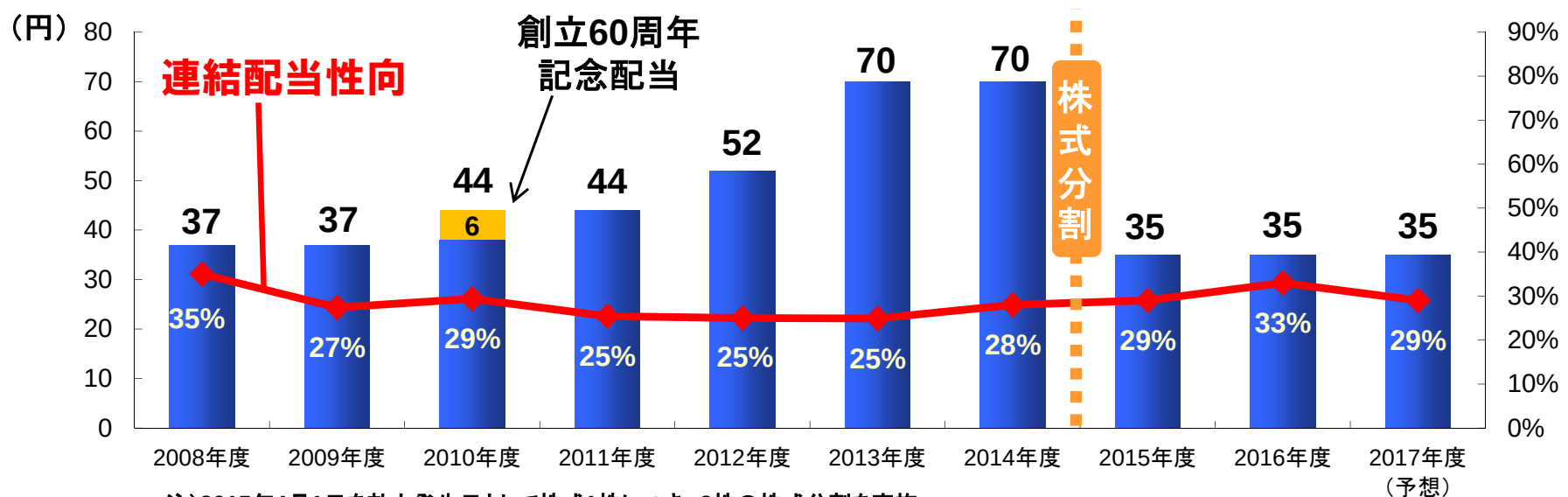
3 株主様への還元について

株主様への還元

利益配分の基本方針

- ✓ 成長投資を継続 研究開発 設備投資 M&A、提携 人財育成
- ✓ 長期に亘って安定的な配当を継続
- ✓ 連結配当性向30%以上を目標

【1株当たり配当金・連結配当性向の推移】



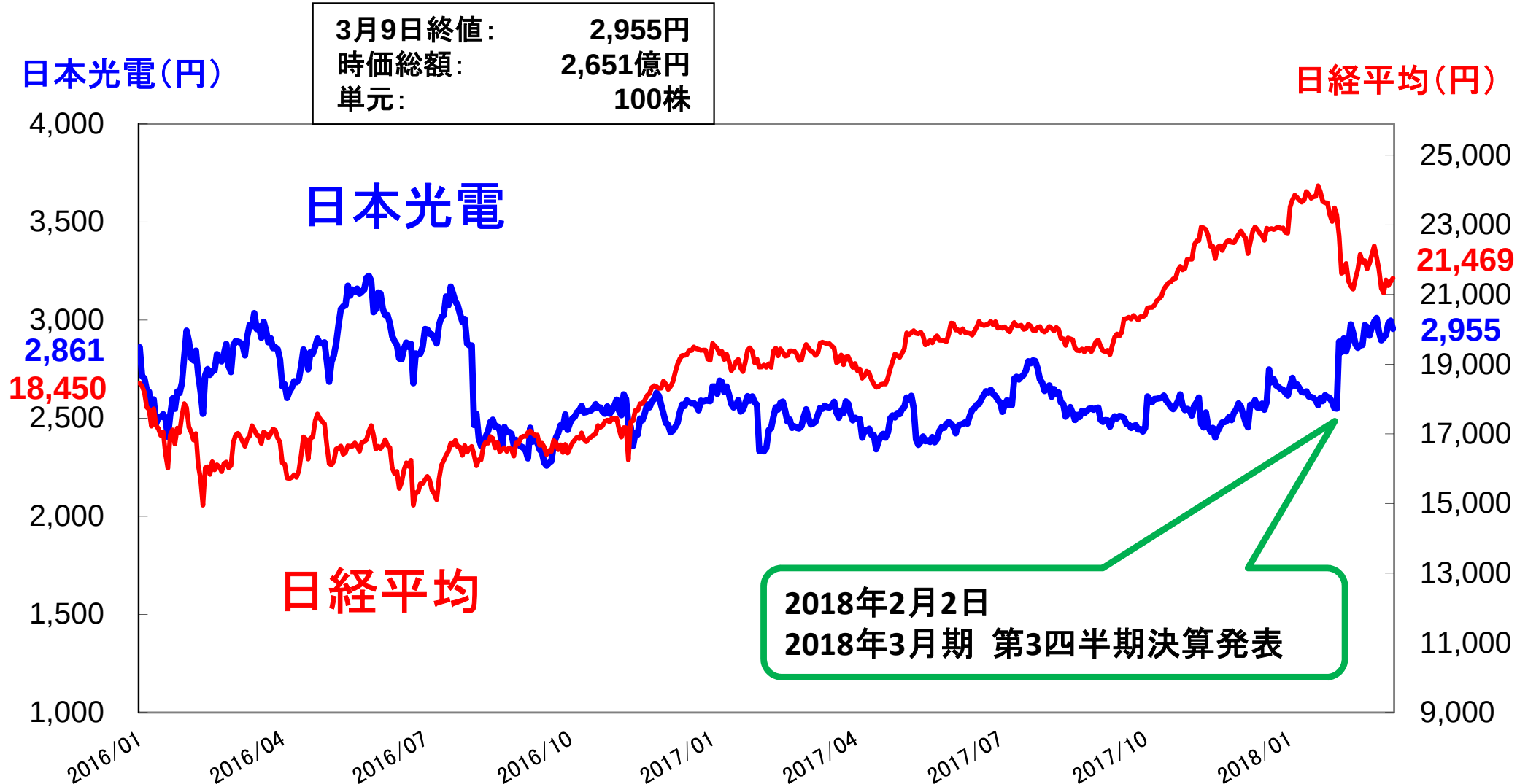
配当利回り: 1.2%
(3月9日株価: 2,955円)

自己株式の取得状況について

直近の実績 2018年3月 50万株取得 ➡ 合計持株比率5.1%

株価推移

2016年1月4日から2018年3月9日までの株価推移



株式情報

日本光電は  **JPX-NIKKEI 400**
「JPX日経インデックス400」採用銘柄です

日本光電	2014年度	2015年度	2016年度
ROE	11.9%	10.7%	9.1%
営業利益	159億円	164億円	135億円
時価総額(2018年3月9日時点)	2,651億円		
独立社外取締役 (取締役総数の1/3 or 3名以上)	○(4名)		

『監査等委員会設置会社』に移行しました

(2016年6月28日開催の株主総会で承認)

CSR(企業の社会的責任)の取組み

- ✓ 日本光電では、会社と個人が一丸となり、社会貢献に取り組んでいます
- ✓ 日本光電は、社会的責任投資(SRI)指標である



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan

の構成銘柄に選定されました

ホームページのご案内

当社ホームページを是非ご覧ください。〈AED情報〉 <http://www.aed-life.com>

日本光電

検索

〈IR情報〉

<http://www.nihonkohden.co.jp/ir>



日付	内容
2018年03月02日	自己株式立外買付取引（ToSTNet-F3）による自己株式の取得結果および取得終了に関するお知らせ
2018年03月01日	自己株式の取得及び自己株式立外買付取引（ToSTNet-F3）による自己株式の買付けに関するお知らせ
2018年02月26日	個人投資家向け会社説明会のお知らせを掲載しました。（東京都 虎ノ門）
2018年02月21日	個人投資家向け会社説明会資料をIR情報 プレゼンテーションページに掲載しました。
2018年02月21日	IRスケジュールページを更新しました。
2018年02月16日	2018年3月期第3四半期報告書を有価証券報告書ページに掲載しました。
2018年02月15日	個人投資家向け会社説明会のお知らせを掲載しました。（神奈川県 厚木）

項目	2018年1～3月	2017年度
売上高	1,050.0億円	1,050.0億円
営業利益	150.0億円	150.0億円
経常利益	150.0億円	150.0億円
純利益	100.0億円	100.0億円
EPS	100.0円	100.0円



〈テレビ・映画で活躍する日本光電製品〉

<http://www.nihonkohden.co.jp/ippan/media.html>



この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】経営戦略部

【連絡先】TEL03-5996-8003